

## 日誌 (昭和34年4月)

## 【国内】

- 1日 ○政府、輸入ユーザンス適用品目を増加  
○政府、指定通貨を追加 (現行指定通貨9を14へ)
- 7日 ○接收貴金属等の処理に関する法律成立  
○最低賃金法成立
- 8日 ○昭和34年度一般会計予算補正第1号成立  
○国際通貨基金および国際復興開発銀行への加盟に

## 【海外】

- 2日 ○経済相互援助会議の鉄・非鉄冶金常任委員会開催 (モスクワ)  
○台湾政府、明会計年度に短期国債の発行を決定
- 4日 ○アイゼンハワー米大統領、ゲチスバーグ大学における演説で対日貿易拡大の重要性を強調
- 6日 ○米証券取引委員会、低位株の投機に警告
- 8日 ○対インド世銀借款25百万ドル成立  
○SEATO理事会、ウエリントンで開催
- 9日 ○ブンデスバンク、市場証券売却レートを $\frac{1}{8}\%$ 引下げ  
○イタリア、5大銀行の大幅増資を決定
- 11日 ○ブンデスバンク、為替上の残存規制を5月1日以降全廃する旨発表
- 12日 ○対パキスタンDLF借款2百万ドル成立
- 13日 ○中共国家統計局、第1次5か年計画の遂行状況発表  
○ニュージーランド、輸入制限緩和を発表
- 14日 ○シベリア西部に大地地下海発見 (深さ1~3km、面積3百万km<sup>2</sup>、水温40°~120°、塩化物を含む)  
○中共国家統計局、1958年度経済実績発表
- 15日 ○アイゼンハワー米大統領、ダレス國務長官の辞

伴う措置に関する法律の一部を改正する法律成立

- 9日 ○国民年金法成立
- 17日 ○外国為替銀行、米ドル建輸入ユーザンス金利を引上げ (現行年利5.5%以上を5.625%以上へ)
- 30日 ○本行、カナダ国通貨表示外国為替引当貸付利率を引上げ (現行日歩1銭を1銭1厘へ)

任を発表

- 15日 ○ブンデスバンク、市場証券売却レートをさらに $\frac{1}{8}\%$ 引下げ
- 16日 ○第1回アラブ石油会議、カイロで開催  
○マラヤ連邦首相更迭 (新首相 Dato Abdul Razak bin Hussein)
- 17日 ○カナダ、コロombo・プランを通じインド、パキスタン、セイロンへ小麦13.5百万ドル供与を発表
- 18日 ○中共、第2期全国人民代表大会第1回会議開催
- 20日 ○イタリア、欧州投資銀行より最初の借款獲得  
○インドネシア、輸入保証金率を133 $\frac{1}{3}\%$ から200%へ引上げ
- 21日 ○マラヤ連邦・米國投資保障協定締結
- 22日 ○ハーター氏、米國務長官に就任  
○イタリア、ニューヨーク市場にて外債を発行
- 23日 ○英国政府、綿紡再建5か年計画を発表  
○フランス銀行、公定歩合を4.25%から4%へ、高率適用歩合を1次6%から5.5%、2次8%から7%へそれぞれ引下げ
- 25日 ○米・加共同出資によるセントローレンス水路開通
- 27日 ○中共、國家主席に劉少奇就任